

医薬品の安定供給という 社会インフラとしての使命を胸に

(一社) 日本医薬品卸売業連合会
副会長

一條 武



本日は大変お忙しい中、本セミナーにご参加いただき、誠にありがとうございます。

会員構成員企業の皆様におかれましては、感染症対策を図りながらの通常業務に加え、新型コロナワクチン等の配送や一部後発医薬品の需給調整への対応など、我々医薬品卸に求められる役割・ニーズは多岐にわたっております。それでも国民の皆様が安心して暮らせる世の中になることを願って、日々、医薬品の安定供給という社会インフラとしての使命を胸に、懸命に努力されていることと思います。この場を借りて、改めて、御礼申し上げます。

皆様も日々、感じていることとは思いますが、経済社会が急速に変化する中、技術革新などによって医療を取り巻く環境は大きく変わろうとしております。

昨年11月には「流通改善ガイドライン」が改訂されました。また、中間年の薬価調査・薬価改定及び調整幅などの薬価制度に関する議論もされて

おります。

さらに、厚生労働省におかれましては、「医政局経済課」が48年ぶりに「医政局 医薬産業振興・医療情報企画課」に名称変更し、新たに医薬品を開発する企業支援、サプライチェーンの強靱化、医療情報の利活用の推進などを担うことになると聞いております。

こうした経済社会や医療の急速な変化、今後の薬価制度に対応すべく、今回のセミナーのテーマは、「経済社会や医療の急速な変化を見据えた医薬流通の課題と展望」といたしました。厚生労働省の安藤課長、県立広島大学大学院の遠藤教授、クレコンの木村社長、IQVIAソリューションズ ジャパンの宇賀神社長にご講演いただきます。

急速な変化を見据えた医薬流通の課題と展望について、様々なお立場から貴重なお話を聞かせていただけるものと期待しております。今後の会社経営に活かしていただきたいと願っております。